

yusuke kamata

鎌田友介

あなたはもう思い出せない

-You don't remember anymore-

2024.7.19 fri - 8.4 sun

Exhibition

AIR475 2024

artist in residence yonago

米子市美術館 第3展示室 10:00-18:00 観覧無料 休館日 = 水曜 8/5(月)~8/8(木)は
展示替えのため閉室

主催: AIR475(エアヨナゴ)

共催: 鳥取県、米子市、米子市教育委員会、一般財団法人米子市文化財団 米子市美術館・米子市立山陰歴史館、鳥取藝住実行委員会

協力: めがねのスエツグ plus、森谷アパート、米子市立図書館、独立行政法人 国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校 総合工学科 建築デザインコース
高増研究室・荒木研究室、 国立大学法人 島根大学教育学部 藤田研究室、鳥取県地域社会振興部 美術館 主任学芸員 赤井あずみ(順不同)

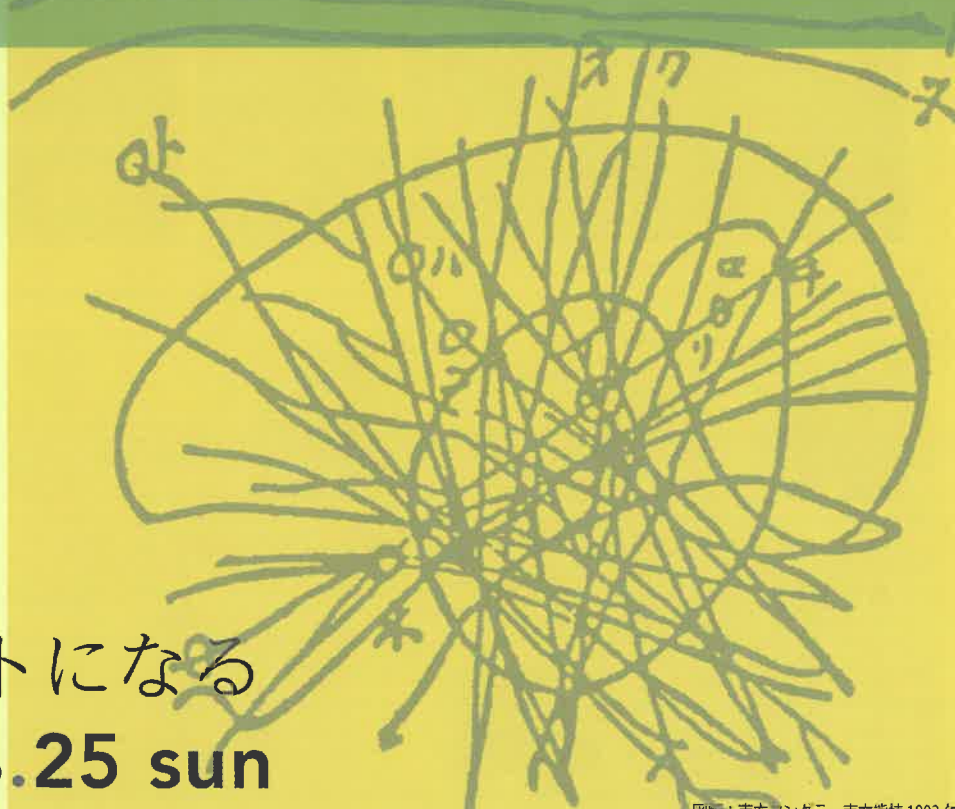
助成: 令和6年度 鳥取県市町村連携型地域活性化拠点事業補助金 公益社団法人三菱UFJ信託地域文化財団 公益社団法人ごうざん文化振興財団
公益社団法人エネルギー文化・スポーツ財団 公益財団法人日本建築家協会鳥取地域会

yoshio shirakawa

白川昌生

出雲神話はアートになる

2024.8.9 fri - 8.25 sun



AIR475 (エアヨナゴ) は、国内外の第一線で活躍するアーティスト、キュレーターによる、サイト・スペシフィックな作品制作やプロジェクトの過程を通して、米子市を中心とした地域の資源(歴史、文化、風土)を発掘し活用するアートプロジェクトです。私たちは、ここに暮らす人々のアートへの理解を深めるだけでなく、地域への愛着、シビックプライドを醸成しながら交流の場をつくるなど、まちおこしの一助となることを目指しています。2013年の活動開始以来、これまで10名のアーティスト、キュレーターが米子にてリサーチ、滞在制作および展覧会を実施してきました。2023年は現代美術作家として活躍する鎌田友介、白川昌生を招聘し、約1ヶ月にわたり米子市中心市街地を拠点にリサーチと滞在制作を実施しました。このたび、米子市、米子市美術館、米子市立山陰歴史館との共催事業として、それぞれの個展を開催し、滞在制作の成果発表を行います。

鎌田友介 YuSuke Kamata

あなたはもう思い出せない -You don't remember anymore-

展示期間 | 2024年7月19日(金)~8月4日(日) 10:00~18:00 水曜休館

建築が解体された後、そこに何が建っていたのか思い出せない現象と、近代日本において起きた様々な事象(植民地主義、移民政策、戦争)に対する忘却を重ね合わせ、米子の古い日本家屋と日本国外(韓国、台湾、アメリカ、ブラジル)に建設された日本家屋のイメージを重ねる写真、映像、インスタレーション作品を展示。もう「思い出せない」ことへの抵抗、そして米子を起点として複数の歴史への回路を開いていくことを試みる。

アーティスト・プロフィール | 鎌田 友介 (かまた・ゆうすけ)

1984年生まれ。2013年 東京藝術大学大学院先端芸術表現修了。歴史や社会の状況を反映するとともに、国家の文化やアイデンティティ形成のツールにもなる建築をテーマに美術と建築を横断する活動を続ける。近年は日本占領下の韓国や台湾で作られた日本家屋やアメリカ合衆国で復興実験のために作られた日本村の設計などの調査を通じ、異なる歴史的背景と場所において日本家屋が孕んだ多様な意味を描き出すプロジェクトを手がける。近年の主なグループ展として、『ホーム・スイート・ホーム』国立国際美術館(2023)、《Collection Highlight》福岡市美術館(2023)、《福岡アートアワード受賞記念展》福岡市美術館(2023)、《買上展》東京藝術大学美術館(2023)、《Time walking on memory》Oil tank culture pack(韓国)(2022)、《釜山ビエンナーレ2022》釜山現代美術館(2022)、《メディアムとディメンション・Liminal》神の本荘(東京)(2022)、《Spinning East Asia Series II: A Net (Disentangled)》CHAT(香港)(2022)、《VOCA2022》上野の森美術館(2022)など。
https://www.yusukekamata.com/



photo: Kazuo Fukunaga
Japanese Houses/2023
Installation view of the exhibition "Home Sweet Home" at the National Museum of Art, Osaka

photo: Moon Jime Hee
The Houses/2018
"How Little You Know About Me?" Courtesy of NMCA, Korea

白川昌生 Yoshio Shrakawa

出雲神話はアートになる

展示期間 | 2024年8月9日(金)~8月25日(日) 10:00~18:00 水曜休館

鳥取や米子で、大正期から現在までの中で活躍した人物の歴史を、出雲信仰の視点から考えてみた記述作品。12点の平面、記述作品で出雲信仰のあり方も示せている。中国地域のみならず、全国の歴史、風土の深層の中から現在に蘇る出雲信仰を、これらの記述作品で伝えられると考えている。

アーティスト・プロフィール | 白川 昌生 (しろかわ・よしお)

1948年福岡県北九州市戸畑生まれ。1970年代にフランス、ドイツで哲学と美術を学ぶ。1981年デュッセルドルフ国立美術学卒業。修士称号を受ける。1983年に帰国後、群馬を拠点に自らの住む場所をテーマに制作活動を行う。近年の主な展覧会として、個展『白川昌生 ここが地獄か、極楽か。』原爆の国丸美美術館、(2021)、《表現の生態系 世界との関係をつくりかえる》アーツ前橋(2018)、《個展 - 消された記憶 - 長崎・群馬》コンセプトスペース(2018)、《群馬の美術 2017 - 地域社会における現代美術の居場所》群馬県立近代美術館(2017)、《ミュージアムとの創造的対話 vol.1 - 誰が記憶を所有するのか?》Monument/Document 鳥取県立博物館(2017)、《あいちトリエンナーレ 2016 - 虹のキャラヴァンサライ》(2016)など。制作活動と並行して美術および社会制度を問う著作も手がける。主な著書に『美術・神話・総合芸術:「闇」としての美術』の源へ 水声文庫(2019)、『美術館・動物園・精神科施設』水声文庫(2010)、『美術・マイノリティ・実践 もうひとつの公共圏を求めて』水声社(2005)など。



弁天通り商店街(群馬県前橋市)

無人駅での行方/2000

日本人だけが1954

三田村光土里

美術家

AIR475 2021 2022 招聘アーティスト



1964年愛知県生まれ 東京在住
フィールドワークから得られる私小説的な道徳を題材に、写真や映像、言葉や日用品等の多様なメディアと組み合わせた空間作品を国内外で発表。文化庁新進芸術家海外派遣(2005)。フィンランド三都市巡回個展(2005)、ウィーン分派会議 Secessionにて個展(2006)。あいちトリエンナーレ 2016。アッセンブリッジ・ナゴヤ 2020、恵比寿映像祭 2022、瀬戸内国際芸術祭 2022。

五十嵐太郎

建築史・建築批評家

東北大学大学院教授



1967年生まれ。
1992年、東京大学大学院修士課程修了。博士(工学)。あいちトリエンナーレ 2013 芸術監督、第11回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展日本館コミッションを務める。『恋屋: 恋をめぐるアートと建築の旅』『装飾をひもとく〜日本橋の建築・再発見〜』『アニメ背景美術に描かれた都市』などの展覧会を監修。第64回芸術選奨文部科学大臣新人賞、2018年日本建築学会教育賞(教育貢献)を受賞。『誰のための排除アート?』(岩波書店)『新宗教と巨大建築』(青土社)、『増補版 戦争と建築』(品文社)ほか著書多数。

同時開催 米子市美術館 特別企画展「米子の書 - 先人と現代 書の祭典 -」7/21(日)~8/25(日) 水曜休館

AIR475
ARTIST IN RESIDENCE YONAGO
2024

お問い合わせ
申し込み

https://air475.com/
https://www.facebook.com/air475/
https://www.instagram.com/air475/

AIR475事務局
E-mail: info@air475.com
〒683-0845 米子市旗ヶ崎9-21-22
Phone: 090-7810-1347 (来問)



AIR475

米子市美術館
〒683-0822 鳥取県米子市中町 12
岩倉ふらっと
〒683-0833 鳥取県米子市岩倉町 52
HARI
〒683-0063 鳥取県米子市法勝寺町 65
わだや小路
〒683-0054 鳥取県米子市稲町 1-10
米子市公会堂
〒683-0812 鳥取県米子市角島町 2-61

【パブリックプログラム】どなたでも参加できます

*まち歩き以外は申し込み不要です。
最新情報をAIR475 Facebook等でご確認のうえご参加ください。

□開会式

日時場所: 7月19日(金)9:30~米子市美術館 1階ホール

□鎌田友介によるギャラリートーク

米子で生み出された作品について、アーティスト本人がご紹介いたします。

日時: 7月19日(金)10:00~11:00
場所: 米子市美術館第3展示室

□鎌田友介 | 失われゆく建築研究所

海外での調査資料や作品原画など鎌田さんの作品の源流になっているものや、学生の調査研究などを展示します。

開場日: 7月20・21・27・28日(土・日)
10:00~18:00 観覧無料

場所: 岩倉ふらっと
協力: 米子高等 高増研究室・荒木研究室
米子北斗高等学校 総合探究部

□鎌田友介・白川昌生 アーティスト・トーク

米子での滞在制作を振り返り、制作された作品や自身の活動についてお話を伺います。

日時: 7月20日(土)19:00~
場所: わだや小路 米子市稲町 1-10
参加費: 無料 定員 30名

□三田村光土里 | Art&Breakfast

@yonago city museum of art

朝食を通してアーティスト滞在先の環境やそこに住まう人々と出会うことを目的としたプロジェクトです。コーヒーと軽食を用意してお待ちしています。

日時: 7月21日(日)9:00~11:00
場所: 米子市美術館 前庭 *雨天、荒天時はHARIへ変更
協力: フルーツカフェ サエキ 参加費: 実費

□五十嵐太郎さんと行く!

AIR475 まち歩き & トーク

建築批評家でも美術にも精通する五十嵐さんと、米子のまちなかにある「失われゆく面白さ」を探します。まち歩きをネタに、鎌田友介さんお交え「まち」建築「アート」についてお話いただきます。

まち歩き
日時: 8月3日(土)15:00~17:00
集合場所: 米子市美術館前 *少雨決行
参加費: ¥1000(冷たいお茶、お菓子付)
定員 10名 Email で要申込。info@air475.com

トーク
日時: 8月3日(土)18:30~20:30
集合場所: 米子市公会堂ホワイエ
参加費: 無料 定員 50名

□白川昌生によるギャラリートーク

米子で生み出された作品について、アーティスト本人がご紹介いたします。

日時: 8月10日(土)14:00~15:00
場所: 米子市美術館第3展示室

□白川昌生 | アーティスト・トーク

米子で制作された作品のこと、地域とアートをつなげる美術活動について、また美術、社会制度に対する批評等を交えお話を伺います。

日時: 8月11日(日)18:30~20:30
場所: 米子市美術館 1階ホール
参加費: 無料 定員 50名

□AIR475 まち歩き in 加茂川祭り

地蔵盆をルーツに毎年開催される加茂川祭りを体験しながらまちを歩きます。

日時: 8月24日(土)16:00~18:00
集合場所: 米子市美術館前 *少雨決行
参加費: 無料
定員 10名 Email で要申込。info@air475.com



米子市美術館にご来館の際は米子市役所所有料
駐車場をご利用いただけます。2時間まで無料
延滞をいたしました場合は美術祭受付までお持ち帰りください。
美術館構内身体障がい者用、ハートフル駐車場を
用意しています。